

2024_0417「日本海を埋め尽くす黄砂の雲（衛星動画）」日々の理科 3541号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

昨日から「黄砂」の予報が出ていました。今日はよく晴れていましたが、やはり太陽も風景も何となく霞んでいました。黄砂は中国大陸から飛んできます。火山灰と同じで、その飛散方向は、地上～上空の風向きだけに依存します。黄砂の発生地に近いほど大粒の粒子から落下し、遠いほど細かい粒子だけになります。そういうメカニズムは頭では理解できるのですが、浅間山や桜島の噴火とちがって、黄砂の場合は発生地を肉眼で見ることができません。そこで、黄砂の観察に威力を発揮するのが「衛星画像」です。

今日の衛星画像を観察すると、夜明け前から黄土色の雲が日本海を埋め尽くしています。左端が朝鮮半島、右端が九州～本州です。明らかにこれは密度の高い「黄砂塊」です。時間を進めてみると、西風に流されて、南の雨雲と同じ速さで、日本海を西から東に移動しています。中国では砂漠に近い都市で発生する砂嵐を「砂塵暴」と呼びます。まさに日本海を横断する砂塵暴の姿です。私はこの日の黄砂の総重量を計算できないかと思いました。恐らく日本海の海底や、本州の地表にも何十万トンもの黄砂が堆積したにちがいありません。

(2024年4月中旬／衛星動画)

